

モニタリング結果報告書

施設 神奈川県立かながわアートホール

指定管理者 公益財団法人神奈川芸術文化財団

施設所管課 県民局くらし文化部文化課

(平成22年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	備考(確認事項等)
4月	5月10日	改善すべき業務等なし
5月	6月10日	改善すべき業務等なし
6月	7月12日	改善すべき業務等なし
7月	8月10日	改善すべき業務等なし
8月	9月10日	改善すべき業務等なし
9月	10月8日	改善すべき業務等なし

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

県の環境方針への配慮に関する取組みについて、省資源、エネルギーの節減の対応等を提案した。

<実施状況>

ホールロビーの受付前の照明器具を消費電力が少なく長寿命のLEDのものにした。

<提案内容の概要>

施設及び設備の維持管理業務について、利用者に満足いただける舞台運営を提案した。

<実施状況>

非常誘導灯の点灯方法についてシステムを改修し所轄消防署の検査に合格のうえ、ホール本番利用中に消灯する運用が可能となった。

<提案内容の概要>

事業の実施に関する業務について、神奈川フィルとの連携によるカジュアル・コンサートの実施及び自主事業として子ども向けの内容に重点をおいた企画を提案した。

<実施状況>

- ・カジュアル・コンサートの実施日及び来場者

平成22年7月10日 入場者数：235名

- ・(自主事業) 子どもに重点をおいた企画イベントの実施日及び来場者

平成22年7月3日：入場者数40名、8月4日：入場者数95名

<提案内容の概要>

音楽情報コーナーに関する業務として所蔵のCD及びDVDを活用したコンサートの実施等を提案した。

<実施状況>

- ・CDコンサートの実施日及び来場者

4月16日：入場者数18名、5月3日：同75名、6月4日：同15名、7月13日：同14名、8月19日：同15名、9月10日：同10名

- ・音楽情報コーナー所蔵のCD、DVD、書籍をホームページ上で検索可能とした。

- ・書籍(楽譜・雑誌を除く)の貸出を開始した。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	125,268	105,048	15,680	4,540	125,268	0
上半期計 (a)	53,063	43,019	7,714 (5,708)	2,330	51,281	1,782
下半期計 (b)						
4月	2,942	1,500	1,440 (566)	1	2,102	840
5月	8,602	6,500	1,368 (727)	733	7,331	1,271
6月	11,186	9,754	1,056 (619)	376	11,922	△736
7月	9,922	8,279	1,207 (1,170)	436	8,129	1,793
8月	10,690	8,887	1,398 (1,458)	404	11,197	△507
9月	9,721	8,099	1,242 (1,168)	380	10,600	△879
合計(a+b)	53,063	43,019	7,714	2,330	51,281	1,782

1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。

2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	25,304 人	22,957 人	10.2%
4月	5,206 人	4,994 人	4.2%
5月	4,118 人	3,760 人	9.5%
6月	2,879 人	3,134 人	△8.1%
7月	5,070 人	4,184 人	21.2%
8月	3,692 人	3,792 人	△2.6%
9月	4,339 人	3,093 人	40.3%
下半期計 (b)	人	人	%
合計(a+b)	25,304 人	22,957 人	10.2%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

上半期の利用者数は前年同期と比較して2,300人強の増加となった。特に、7月、9月の利用者数が昨年同期に比べ多く、ホール利用における本番利用時の利用者数が多かったことが要因である。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	1	1
7月	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
月			
月			
月			
月			
月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応	受付職員の対応がとても良かった	
事業内容		
その他		

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	該当なし。

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		該当なし。	

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>施設維持管理のソフト面では、受付や舞台スタッフの対応について利用者が親しみと好感をもっており、そのことが施設利用におけるリピーター確保につながっている。</p> <p>ハード面においては、開館から18年が経過し設備等の経年劣化が原因となる障害が発生している。</p> <p>これらの状況を踏まえ、アートホールの指定管理業務をより効果的・効率的に推進していくために、マンパワー面では、業務委託先とのアートホールにおける県立施設としてのビジョンやミッションについての理解を常に共有していく、またハード面においては、日常及び定期点検を適切に行いかつ障害発生を予防することで、利用者サービスを向上し併せて利用者数の増加を図る。</p>
施設所管課	<ul style="list-style-type: none">・開館から18年が経過し、設備等の経年劣化が進みつつあることが課題であり、対応を適切に行いながら、施設特性を活かした管理運営に努めていただきたい。・施設・設備類の経年劣化対策は、県と指定管理者で、検討・協議を行いながら実施していく必要がある。・今後も、多様化する施設利用者、来場者の要求に応えるための、サービスの向上を図り、利用率、利用者数、利用料金収入の向上に努めていただきたい。